

事業所調査票①

※特に注意書きがない限り、令和元年10月1日時点の状況についてお答えください。

はじめに、貴施設・事業所のご連絡先をご記入ください

法人名		
施設・事業所名		
住所	都・道 府・県	市・区 町・村
電話番号	(市外局番：)	—
E-mail		

問0 令和元年10月1日時点において、外国人介護職員を受け入れていますか。(あてはまる番号1つに○)。

※外国人介護職員：貴施設・事業所で介護職員として受け入れており、日本語が母語でない外国人

- | | |
|-------------|--|
| 1. 受け入れていない | →ここまでの回答で結構です。
本調査票を同封の返信用封筒にてご返送ください。ご協力ありがとうございました。 |
| 2. 受け入れている | →以下の設問にご回答ください。 |

I. 貴施設・事業所が属する法人の概要についてお尋ねします

問1 法人の種類についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 地方公共団体(市区町村、広域連合、一部事務組合) | 3. 医療法人 |
| 2. 社会福祉法人 | 4. その他(具体的に：) |

問2 法人全体の従業員数についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

※職種や役職に関係なく、法人が実施するすべての事業に従事する常勤・非常勤の従業員数(実人数)について、あてはまる番号を選択してください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は除きます。

- | | | |
|------------|--------------|-----------|
| 1. 49人以下 | 3. 100人～199人 | 5. 300人以上 |
| 2. 50人～99人 | 4. 200人～299人 | |

II. 貴施設・事業所の概要についてお尋ねします

問3 貴施設・事業所の種類についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 介護老人福祉施設(地域密着型を含む) | 6. 認知症対応型共同生活介護 |
| 2. 介護老人保健施設 | 7. 小規模多機能型居宅介護 |
| 3. 介護療養型医療施設、介護医療院 | 8. 通所介護 |
| 4. 養護老人ホーム | 9. 病院 |
| 5. 有料老人ホーム | 10. 障害児者支援施設 |
| | 11. その他(具体的に：) |

問4 貴施設・事業所の定員・病床数、職員数についてお答えください。(あてはまる数字を記入)

定員・病床数 (令和元年10月1日現在)	人/床
職員数 (実人数) (令和元年10月1日現在)	人

※職員数については、職種や役職に関係なく、貴施設が実施するすべての事業に従事する常勤・非常勤の従業員数 (実人数) をご記入ください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は除きます。

問5 貴施設・事業所の介護職員の人数 (実人数)、常勤換算数 (常勤・非常勤合計、小数点第1位まで)をお答えください。(令和元年10月1日現在)

(あてはまる数字を記入。いない場合は、「0(ゼロ)」を記入)

		全体 (日本人を含む)	うち外国人 (実人数)					
			EPA 介護職員	在留資格「介護」	技能実習生	特定技能1号	身分系の在留資格	留学生アルバイト
介護職員	常勤							
	非常勤							
	常勤換算数 (常勤・非常勤計)							
うち 介護 福祉士	常勤							
	非常勤							
	常勤換算数 (常勤・非常勤計)							

※「EPA 介護職員」とは、「日インドネシア EPA」、「日フィリピン EPA」または「日ベトナム EPA」に基づき、介護福祉士候補者または介護福祉士として雇用されている外国人介護職員のことを指します。

※「身分系の在留資格」とは、「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」のうち、いずれかの在留資格を有する外国人介護職員のことを指します。

問6 介護福祉士の資格取得に伴う昇給や手当等についてお答えください。

(1) 貴施設・事業所では、介護福祉士の資格を取得した職員に対する昇給や手当等の仕組みがありますか。(あてはまる番号すべてに○。「1. 昇給あり」、「2. 手当あり」、「3. 一時金あり」の場合は、金額も記入)

1. 昇給あり (金額: 時給 円 アップ/月給 円 アップ)	} 問6 (2) へ
2. 手当あり (金額: 1か月あたり 円)	
3. 一時金あり (金額: 円)	
4. その他 (具体的に:)	
5. 昇給や手当等の仕組みはない →問7へ	

※1の昇給の金額については、時給換算、月給換算のいずれか、回答しやすい数字をご記入ください。

(2) (1) で回答した昇給や手当等は、介護福祉士養成施設卒業者に対する経過措置が適用されている職員 (国家試験不合格あるいは未受験) にも支給されていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 支給されている	4. その他 (具体的に:)
2. 支給されているが、金額が少ない	5. わからない
3. 支給されていない	

III. 介護職員のキャリア支援の取組みについてお伺いします

※本調査において、「キャリア支援」とは、貴施設・事業所で働く介護職員が定着・活躍できるよう、仕事面・生活面の支援、介護職としての技能の向上やキャリアアップに向けた支援等を行うことを指します。

※問7から問10については、日本人か外国人かを問わず、貴施設・事業所の介護職員全体のキャリア支援についてお答えください。

問7 介護職員のキャリアパス（将来自分が目指す職位や役職に対して、どのような経験を積み、能力を身に付け、資格を取得していくことが必要かなどを示すもの）と加算の算定状況についてお答えください。

(1) 施設・事業所では、介護職員のキャリアパスを導入していますか。また、そのキャリアパスを介護職員に明示していますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 導入し、明示している | 3. 導入に向けて、検討中 |
| 2. 導入しているが、明示していない | 4. 導入していない |

(2) 令和元年度で介護職員処遇改善加算（Ⅰ）～（Ⅴ）、介護職員等特定処遇改善加算を算定していますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 介護職員処遇改善加算（Ⅰ） | 6. 介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ） |
| 2. 介護職員処遇改善加算（Ⅱ） | 7. 介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ） |
| 3. 介護職員処遇改善加算（Ⅲ） | 8. 算定していない |
| 4. 介護職員処遇改善加算（Ⅳ） | 9. 介護保険サービス施設・事業所ではない |
| 5. 介護職員処遇改善加算（Ⅴ） | |

問8 貴施設・事業所（あるいは法人）で実施しているキャリア支援の取組みについてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1. プリセプター制度・エルダー制度の導入 | 8. 選択肢7や制度上の研修以外の介護知識・技能向上のための独自研修等の開催（他法人との共同実施を含む） |
| 2. 上司・管理者にキャリア面談・相談等 | 9. 介護福祉士国家試験の受験料の助成 |
| 3. 自己評価シート（個人目標設定シート）の導入 | 10. 毎年、個々の職員の研修・育成計画を策定 |
| 4. ミタ制度の導入 | 11. 外部で実施される研修等の受講料の助成 |
| 5. ロールモデルとなる先輩職員の講義や相談できる機会の提供 | 12. 外部研修や学会への受講を積極的に推奨 |
| 6. 貴施設・事業所のキャリアパス・資質向上に関する説明会・研修等の開催 | 13. テキストや教材の提供あるいは費用助成 |
| 7. 介護福祉士国家試験対策の研修等の開催 | 14. その他（具体的に：_____） |
| | 15. 特に行っていない |

※プリセプター制度：新人職員に対して、決められた経験のある先輩職員がマツマンで、ある一定期間新人研修を担当する方法
 ※エルダー制度：新人職員に決まった相談相手を配置し、仕事の仕方、学習方法、悩みごとなどの精神面、生活面など広範囲にわたり相談や支援を行う。

※ミタ制度：先輩職員（ミタ）が、新人職員を援助し、味方となり、指導し、助言し、相談にのる役割を果たすもの。通常、直接的な実地指導者として関わることはなく、支援者の役割を果たす。

問9 貴施設・事業所（あるいは法人）で実施している介護職員向けの研修等のテーマについてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

※貴施設・事業所（あるいは法人）の職員が講師を務めるもののほか、外部から講師を招く場合も含まれます。

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 1. 組織の理念・ケアの方針 | 12. 終末期ケア、看取り対応 |
| 2. 社会人としての仕事への態度やマナー | 13. 機能訓練・リハビリテーション |
| 3. 尊厳の保持、自立支援 | 14. 感染症対策・衛生管理 |
| 4. 介護職員としての職業倫理 | 15. 事故発生防止・事故対応 |
| 5. 生活援助技術（掃除、洗濯、調理等） | 16. 身体拘束・虐待の防止 |
| 6. 身体介護技術（食事、入浴、排泄等） | 17. 介護保険制度 |
| 7. 利用者とのコミュニケーション | 18. 地域包括ケアシステム |
| 8. 家族とのコミュニケーション | 19. 人材育成・教育方法（コーチング、スーパービジョンの方法等） |
| 9. 介護過程の展開 | 20. 組織運営・リーダーシップ |
| 10. 認知症ケア | 21. その他（具体的に：_____） |
| 11. 医療的ケア（疾病・治療・服薬の理解など） | 22. 特に行っていない |

問10 介護職員のキャリア支援に関する課題について、自由にご記入ください。

IV. 外国人介護職員の受入れについてお伺いします

問11 外国人介護職員の受入れにあたり、重視していることについてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 介護という仕事に対する理解度	9. 主体性や誠実さ
2. 日本の介護知識・技能の習得に対する意欲	10. 介護の仕事の継続意向
3. 日本語能力	11. 日本への定住意向
4. 日本の文化・慣習に対する理解度	12. 貴施設での就労継続意向
5. 日本語や日本の文化を知ろうという意欲	13. 将来の目標
6. 母国の看護や介護にかかる資格の取得状況	14. 他の職員とのバランス・相性
7. 母国の看護や介護にかかる経験	15. その他(具体的に: _____)
8. コミュニケーション能力	16. 選考の基準は特にない(個別に判断している)

問12 現在受け入れている外国人介護職員に、どのくらいの年数、貴施設・事業所で働いてほしいですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 1年以上	4. なるべく長く働いてほしい
2. 3年以上	5. 在留資格によって異なる
3. 5年以上	6. わからない

問 12-1 【問 12 で 「5. 在留資格によって異なる」と回答した方にお伺いします。】

現在受け入れている外国人介護職員に、貴施設・貴事業所で働いてほしい年数について、在留資格別にお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

※技能実習、特定技能1号については、将来的に在留資格を変更する場合も含めてお答えください。

特定活動 (EPA)	1. 1年以上 2. 3年以上 3. 5年以上	4. なるべく長く働いてほしい 5. 該当する職員はいない
在留資格「介護」 (在留資格「介護」を取得予定の留学生アルバイトを含む)	1. 1年以上 2. 3年以上 3. 5年以上	4. なるべく長く働いてほしい 5. 該当する職員はいない
技能実習	1. 1年以上 2. 3年以上 3. 5年(上限)	4. なるべく長く働いてほしい 5. 該当する職員はいない
特定技能1号	1. 1年以上 2. 3年以上 3. 5年(上限)	4. なるべく長く働いてほしい 5. 該当する職員はいない
身分系の在留資格	1. 1年以上 2. 3年以上 3. 5年以上	4. なるべく長く働いてほしい 5. 該当する職員はいない

問13 【問12あるいは問12-1で「3. 5年以上」、「4. なるべく長く働いてほしい」と回答した方にお伺いします。】将来、外国人介護職員に期待する職位や役割についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 介護職員として技術・経験を積み重ねてほしい (管理的立場になることは特に期待しない)	5. 中間管理者(ユニットリーダー、フロアリーダー、主任など)として現場を統括してほしい
2. 外国人介護職員全体を統括するリーダーになってほしい	6. 施設・事業所の施設長や管理者になってほしい
3. 外国人介護職員を指導する役割を担ってほしい	7. その他(具体的に:)
4. 外国人介護職員として施設・事業所に定着する ロールモデルになってほしい	8. わからない

問14 現在受け入れている外国人介護職員のうち、以下に該当する方はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 他の外国人介護職員全体を統括するリーダーになっている者
2. 他の外国人介護職員に指導・助言する役割を担っている者
3. 外国人介護職員として施設・事業所に定着するロールモデルになっている者
4. 中間管理者(ユニットリーダー、フロアリーダー、主任など)として現場を統括する者
5. 施設・事業所の施設長または管理者
6. 上記に該当する職員はいない

問14-1 【問14で1~5に回答した方にお伺いします。】

その方の在留資格はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特定活動(EPA)	3. 身分系の在留資格
2. 在留資格「介護」	4. わからない

問15 今後3年間の、外国人介護職員の受入れの意向をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 積極的に受け入れる意向がある	3. 受け入れる意向はない
2. 受け入れる意向がある	4. わからない・未定

問15-1 【問15で「1. 積極的に受け入れる意向がある」、「2. 受け入れる意向がある」と回答した方にお伺いします。】受け入れたい人数をお答えください。(あてはまる数字を記入)

合計			人程度
特定活動(EPA)	人程度	在留資格「介護」	人程度
技能実習	人程度	特定技能1号	人程度
身分系の在留資格	人程度	留学生アルバイト	人程度

V. 外国人介護職員のキャリア支援の取組みについてお伺いします

問16 現在受け入れている外国人介護職員の日本で介護の仕事を選択した理由、日本で介護の仕事をする上での目標、将来の目標や希望を把握していますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	把握している	まあ把握している	あまり把握していない	把握していない
日本で介護の仕事を選択した理由	1	2	3	4
日本で介護の仕事をする上での目標	1	2	3	4
将来の目標や希望	1	2	3	4

問16-1 外国人介護職員の「日本で介護の仕事をする上での目標」で最も多いものはなんですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 日本の高度な介護を学ぶこと | 4. 日本語の上達や日本文化の理解 |
| 2. 介護福祉士等の資格の取得 | 5. 仕送りや貯蓄 |
| 3. 日本で介護職員としてキャリアを積むこと | 6. その他(具体的に:) |

問17 貴施設・事業所(あるいは法人)で、外国人介護職員向けに、特に実施している支援についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 介護知識・技能の指導 | 6. 日本の文化や慣習に関する研修や勉強会 |
| 2. 日常生活で用いる日本語会話の指導 | 7. 定期的な面談による困りごとや悩みの把握 |
| 3. 介護現場で用いる日本語会話の指導 | 8. 業務の理解度や介護技術の習得状況等の把握 |
| 4. 介護記録の日本語の指導 | 9. その他(具体的に:) |
| 5. 日本での生活に関する研修や勉強会 | 10. 実施していない(日本人と同じ研修のみ) |

問17-1 【問17で「1. 介護知識・技能の指導」と回答した方にお伺いします。】

外国人介護職員向けに特に実施している具体的なテーマはなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 尊厳の保持、自立支援 | 9. 医療的ケア(疾病・治療、服薬の理解など) |
| 2. 介護職員としての職業倫理 | 10. 終末期ケア、看取り対応 |
| 3. 生活援助技術(掃除、洗濯、調理等) | 11. 機能訓練・リハビリテーション |
| 4. 身体介護技術(食事、入浴、排泄等) | 12. 感染症対策・衛生管理 |
| 5. 利用者とのコミュニケーション | 13. 事故発生防止・事故対応 |
| 6. 家族とのコミュニケーション | 14. 身体拘束・虐待の防止 |
| 7. 介護過程の展開 | 15. その他(具体的に:) |
| 8. 認知症ケア | |

問18 貴施設・事業所の外国人介護職員向けに、特に実施している介護福祉士国家試験対策についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|---|
| 1. 介護知識の指導 | 8. 外部で実施される研修等の受講勧奨 |
| 2. 介護技術の指導 | 9. テキストや教材の提供あるいは費用助成 |
| 3. 国家試験対策の日本語の指導 | 10. 模擬試験の実施 |
| 4. 実務者研修のための日本語の指導 | 11. その他(具体的に:) |
| 5. 国家試験の受験料の助成 | 12. 特に行っていない(日本人と同じ対策のみ) |
| 6. 実務者研修の受講料の助成 | 13. 現在受け入れているすべての外国人介護職員が介護福祉士国家試験に合格している |
| 7. その他の研修の受講料の助成 | |

問19 人員・予算・時間等の理由で、貴施設・事業所(あるいは法人)だけでは、外国人介護職員向けの研修等を実施することが困難なテーマがあればお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 日常生活で用いる日本語 | 11. 認知症ケア |
| 2. 介護現場で用いる日本語 | 12. 医療的ケア(疾病・治療、服薬の理解など) |
| 3. 介護福祉士国家試験に必要な日本語 | 13. 終末期ケア、看取り対応 |
| 4. 尊厳の保持、自立支援 | 14. 機能訓練・リハビリテーション |
| 5. 介護職員としての職業倫理 | 15. 感染症対策・衛生管理 |
| 6. 生活援助技術(掃除、洗濯、調理等) | 16. 事故発生防止・事故対応 |
| 7. 身体介護技術(食事、入浴、排泄等) | 17. 身体拘束・虐待の防止 |
| 8. 利用者とのコミュニケーション | 18. その他 |
| 9. 家族とのコミュニケーション | (具体的に:) |
| 10. 介護過程の展開 | |

問20 外国人介護職員に対してどのような相談支援の体制を設けていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 相談担当者を配置している	3. その他
2. 公的機関等の相談窓口を紹介している (具体的に：)	(具体的に：)
	4. 特になし

問20-1 【問20で「1. 相談担当者を配置している」と回答した方にお伺いします。】

相談担当者が対応できる言語はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日本語	3. その他の言語
2. 英語	(具体的に：)

問21 外国人介護職員の就労環境や生活面に対してどのくらい支援を行っていますか。

(1から19について、それぞれあてはまる番号1つに○)

また、現在の実施の有無にかかわらず、外国人介護職員が貴施設・事業所において定着・活躍するために重要だと思う支援についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

	支援の実施状況 (1から19について、それぞれあてはまる番号1つに○)					重要な支援 (現在実施していても、あてはまる番号すべてに○)
	非常に 行っ てい る	行っ てい る	い え な い	ど ち ら も	あ ま り 行 っ て い な い	
1) 介護知識技能の習得のための支援	1	2	3	4	5	
2) 介護現場に必要な日本語習得のための支援	1	2	3	4	5	
3) 介護記録の方法の工夫 (ICTの活用など)	1	2	3	4	5	
4) メンタルヘルスケア	1	2	3	4	5	
5) 一時帰国・休暇取得への配慮	1	2	3	4	5	
6) 文化・風習への配慮	1	2	3	4	5	
7) 日本語教室等のコミュニケーション円滑化のための支援	1	2	3	4	5	
8) 食生活の支援	1	2	3	4	5	
9) 気候等の環境への対応に関する支援	1	2	3	4	5	
10) 信仰上の配慮 (宗教的行事の日の休暇取得承認、宗教上禁忌とされている作業をさせない等)	1	2	3	4	5	
11) 住居の確保	1	2	3	4	5	
12) 行政手続きや住まいの契約手続き等の支援	1	2	3	4	5	
13) 携帯電話やインターネット等の契約・解約手続き等の支援	1	2	3	4	5	
14) プライベートに関わる問題 (恋愛・金銭の貸借・副業等)	1	2	3	4	5	
15) 他施設の外国人介護職員との交流の支援	1	2	3	4	5	
16) 地域・周りの日本人との交流の支援	1	2	3	4	5	
17) 日本の観光や行事参加に関する支援	1	2	3	4	5	
18) 地域・周りの同じ出身国の外国人との交流の支援	1	2	3	4	5	
19) 同居する外国人家族に対する支援	1	2	3	4	5	

問21-1 【問21 19)の支援の実施状況で1~4と回答した方にお伺いします。】家族に対する支援の具体的な内容についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日本語教室等のコミュニケーション支援	4. メンタルヘルスケア
2. 地域・周りの日本人との交流の支援	5. 子どもの保育・教育支援
3. 地域・周りの同じ出身国の外国人との交流の支援	6. その他 (具体的に：)

問22 外国人介護職員を受け入れるにあたり、日本人職員に対して実施している研修等のテーマについてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 施設・事業所としての外国人介護職員受入れの方針や姿勢 | 6. 介護の基本理念の意味の伝え方
(「尊厳の保持」「自立支援」など) |
| 2. 外国人介護職員に教育・指導する際の留意点 | 7. 外国人介護職員の出身国の文化・風習 |
| 3. 日常生活で用いる日本語の教育方法 | 8. 外国人介護職員に対し信仰上配慮すべきこと
(宗教的行事の日の休暇取得承認、宗教上禁忌とされている作業をさせない等) |
| 4. 介護現場で用いる日本語の教育方法 | 9. その他(具体的に:) |
| 5. 介護知識・技能の教育方法 | 10. 実施していない |

問23 外国人介護職員の定着・活躍支援について、連携している関係機関・団体についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 日本語学校 | 6. 監理団体・登録支援機関 |
| 2. 介護福祉士養成校 | 7. 国際交流団体・外国人支援団体 |
| 3. 自治体(都道府県、市町村) | 8. 町内会・自治会 |
| 4. 国際厚生事業団(JICWELS) | 9. 教会・寺院等の宗教関連の施設・機関 |
| 5. 国際研修協力機構(JITCO) | 10. その他(具体的に:) |
| | 11. 特になし |

問 23-1 【問 23 で 1～10 と回答した方にお伺いします。】

関係機関・団体との連携内容について、具体的に記述してください。

VI. 貴施設・事業所と地域とのつながりについてお伺いします

問24 貴施設・事業所が、地域住民に対して、実施している取組みについてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 施設・事業所が開催するお祭りやコンサート等のイベントへの招待 | 6. 地域住民が開催するお祭り等への参加 |
| 2. 外国人介護職員の出身国の文化・風習の紹介 | 7. 防災訓練等の地域住民との協力による災害対策 |
| 3. 地域住民の交流の場の提供 | 8. 地域住民が参加する定期的な会議等の開催
(地域密着型サービスにおける運営推進会議など) |
| 4. 認知症の方や家族向けの集いの場の提供
(認知症カフェ等) | 9. その他(具体的に:) |
| 5. 学校の児童生徒との交流、福祉教育 | 10. 特になし |

問 24-1 【問 24 で 1～9 と回答した方にお伺いします。】問 24 で回答した取組みのうち、外国人介護職員が参加している取組みについてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 施設・事業所が開催するお祭りやコンサート等のイベントへの招待 | 6. 地域住民が開催するお祭り等への参加 |
| 2. 外国人介護職員の出身国の文化・風習の紹介 | 7. 防災訓練等の地域住民との協力による災害対策 |
| 3. 地域住民の交流の場の提供 | 8. 地域住民が参加する定期的な会議等の開催
(地域密着型サービスにおける運営推進会議など) |
| 4. 認知症の方や家族向けの集いの場の提供
(認知症カフェ等) | 9. その他(具体的に:) |
| 5. 学校の児童生徒との交流、福祉教育 | 10. 特になし |

**事業所調査票①は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
お手数ではございますが、事業所調査票②と一緒に、
同封の返信用封筒(切手不要)にて、12月20日(金)までに投函してください。**